

フードバンク関西ニュース FOOD BANK KANSAI NEWS

認定特定非営利活動法人 フードバンク関西

<https://foodbankkansai.org/>

神戸市東灘区深江本町1-8-16 バレル芦屋101

TEL : 078-855-7025 info@foodbankkansai.org



vol.
46
2022.06

2021年度 生活困窮世帯への食支援事業

個人や世帯からの直接の食支援依頼への対応 (2021年4月～2022年3月)



食品発送世帯

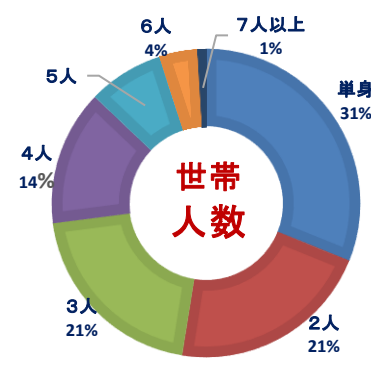
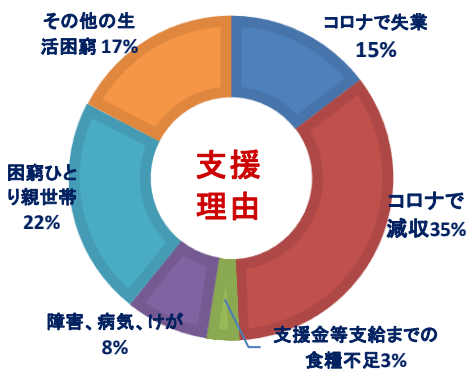
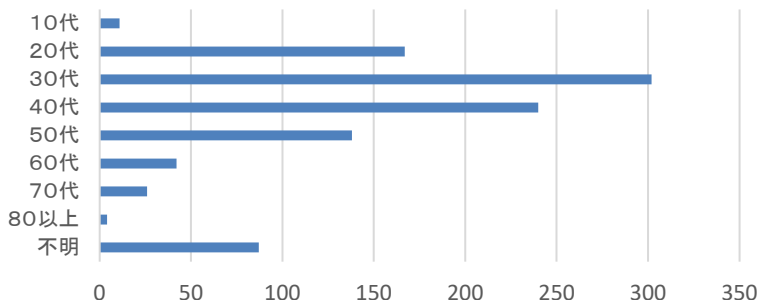
人数

1,017世帯 2,661人

前年度に比べ12.6倍

ホームページのお問合せフォームや電話での依頼を受けて、
宅配で食品をお届けしました

支援世帯主の年齢



新年度を迎えるにあたって

私たちの活動は今年4月から20年目に入りました。

この間、少しずつ活動を拡大してまいりましたが、新型コロナウイルスまん延以降、フードバンク活動が社会で注目されることとなり、事業の拡大が加速いたしました。

そして2021年度は、コロナ禍で困窮する個人世帯が増加する中、生活困窮者支援強化へと舵を切り、個人世帯からの直接の食支援要請に対して、年度内に延べ1017件へ食品を直接宅配でお送りしました。困窮する子育て世帯へは、お米や缶詰レトルト、お菓子などを詰めた食品パックを年2回、延べ1246世帯に宅配でお届けしました。1回の食支援だけでは根本的な問題の解決にはなりません、食べ物がある安心感で前向きな気持ちになっていただくことができました。

そのような私たちの活動に賛同し、食品をご提供くださる方々、運営資金をご寄付くださる方々も増えました。私たちの活動をご支援くださる皆さまに心より感謝いたしますとともに、ご期待にお応えできるようさらに活動を推進してまいります。

このコロナ禍で私たちは、地域でセーフティネットを機能させることの大切さを学んだのではないかと思います。食のセーフティネットをしっかりと構築するため、行政や社会福祉協議会との連携強化や地域でフードパントリーを開催する団体への食支援を進めてまいります。そして食支援を入口として支援が必要な方々を包括的に支えるしくみづくりに貢献していきたいと思っております。

今度とも皆さま方からの温かいお力添えを賜りますよう、お願い申し上げます。

代表 中島 真紀

子育て世帯応援 食品パック事業

コロナ禍で収入減など生活が苦しい子育て世帯を対象に、給食がなくなる夏休みと、クリスマスやお正月時期の2回、希望世帯を公募して食品パックを宅配で届けました

夏休み子育て世帯応援食品パック (2021. 6～7)



配付世帯

420世帯

人数

1444人



配付食品量

約4.8トン

笑顔になる～年末食品パック (2021. 11～12)



配付世帯

826世帯

人数

2371人



配付食品量

約9.5トン

食品の回収状況

取り扱い食品総量



282トン(対前年度比12%増)

取り扱い食品総量は、前年を少し上回りました。コロナ禍による消費の消失は少し落ち着きましたが、依然として、コロナの影響がみられました。2021年度の特徴として以下が挙げられます。

- ① コロナの影響による消費の機会喪失
- ② お米の提供量が増えた
- ③ 防災備蓄品の入れ替え時の寄付が増大
- ④ 企業、団体で困窮者支援としてフードドライブに取り組むところが増えた。

企業・団体からの食品引き取り

新規の提供企業数は前年度より減りましたが、継続的にご寄付いただけたところや1社当たりの提供量は前年度より増えました。食品パック事業では、SDGsの取り組みとして余剰食品ではなく正規品のご提供によりご協力いただけたこともありました。

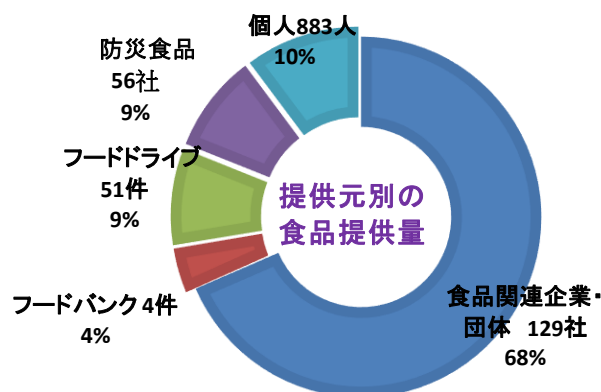
個人からの寄付

前年度を上回り、のべ1503件、28,764kgのご寄付をいただきました。そのうち、18,699kgはお米で、当法人全体のお米の引き取り量の42%となっており、重要な供給源です。マスコミでフードバンク関西が取り上げられた後にご寄付が増え、「こんな活動があることを知ってよかったです、応援します」とのようなメッセージもたくさんいただきました。

フードドライブ

企業・団体、学校などでコロナ禍で困窮する人たちを支援するためにフードドライブを開催し、当法人に寄付していただくことが増えました。これらのフードドライブでは、事前にどのような食品が役立つか相談していただくこともあり、困窮世帯への食支援に必要なものを入手することができました。

量販店のレジ横にボックスを設置して、毎月期間を決めて実施されるフードドライブでの回収も引き続き行っており、食のセーフティーネット事業や子ども元気ネット事業に活用しています。



食品・防災備蓄食品提供企業



185社

(うち防災備蓄品提供企業 56社)

食品管理&保管

取扱量の増大にともない、事務所兼倉庫だけでは食品の受取りが難しい場合もでてきました。とりわけ、食品パック発送準備では、一度に大量の食品のご提供があり、食品保管スペースの確保が課題でしたが、ジェイカス株式会社のご厚意により、事務所から近くにある同社の倉庫の一部をお借りすることができ、大量の入庫にも対応することができました。

また、フードバンク関西事務所からジェイカス株式会社倉庫への移送にあたっては、ボランティアで当法人に参加いただいている近隣の酒井陸運株式会社の方が荷姿を整えたり運搬を担っていただきました。プロの手を借りることができて、大助かりでした。

食品の入出庫管理においては、2021年10月より、クラウド上で管理する新システムを導入し、タブレット端末やパソコンを使って即時に入庫、出庫ができるようになりました。取扱量の増大にも対応でき、在庫管理機能の向上、適格な入出庫管理によるトレーサビリティの向上が図られます。

また、ボランティアの作業効率が上がり、負担軽減に役立っています。

今後さらにこのシステムを使いこなし、改良していくことで、入庫予定や出庫スケジュール管理、受取り団体への分配の適正化を進めていきます。



酒井陸運での荷物の積み替え



事務所での食品の保管



タブレットでその場で入庫処理

回収した食品の活用

非営利団体への無償分配

支援を必要とする人たちを支える活動をする非営利団体に食品を無償提供することによって、食品を有効活用し、受益者の生活の向上に役立てていただいています。受取り団体は多分野で活動する専門集団であり、フードバンク活動を理解して協力いただける当法人のパートナーです。

食品提供団体 **162**団体（うち新規 **28**団体）

子ども元気ネットワーク事業

困窮するひとり親世帯を支援する民間団体14団体と連携し、当法人が食支援の部分を担って、1年間、毎月宅配で、お米やパン、野菜、缶詰、レトルト、お菓子などを箱に詰めて送っています。

- ・児童扶養手当全額支給がそれと同等の経済状態の世帯
- ・3歳以上19歳未満の子どもが1人以上いる世帯

支援実績 のべ**944**回（2021年4月~2022年3月）

1年間の食支援でひとり親世帯の暮らしがよくなるほど、世帯の抱える問題は簡単ではありませんが、日頃節約して買うことの少ないお菓子も届き、子どもたちの大きな喜びとなり、子どもの笑顔で親も一時、明るい気持ちになっていただくことができました。



食品にお手紙を添えて送ります

子ども食堂支援事業

受取り団体として登録いただいたところに毎月食品を提供しているほか、兵庫子ども食堂ネットワークを2017年2月に立ち上げ、事務局を担っています。組織体制を刷新し、地域代表連絡会を設置してそこからネットワークの役員を選出しました。新役員体制となり、ネットワークへの支援物資の分配機能などが強化されました。今後は、兵庫県全体にネットワークを広げていくよう、引き続き事務局の一旦を担っていきます。

食のセーフティネット事業

1. 行政、社会福祉協議会を通じて

生活困窮に陥った一般市民に対し、行政の福祉担当部署、社会福祉協議会からの支援要請を受けて、当法人が米や日持ちのする食品を用意し、担当部署を通じて提唱者に提供しています。

事業協定先/尼崎市、高砂市、社会福祉協議会（芦屋市、西宮市、伊丹市、宝塚市、三田市、加東市、猪名川町、神戸市）、兵庫県郡部12町を対象地域とする1民間事業所

年度	2019年度	2020年度	2021年度
支援件数	666	876	587

2. 個人からの直接依頼への対応

行政や社会福祉協議会を通さず直接お問合せフォームや電話で個人世帯から直接の食支援依頼が急増しました。

支援実績 のべ**1017**件 **2661**人
（2021年4月~2022年3月）

約半数がコロナにより失職または収入減による生活困窮によるものでした。ひとり親世帯がコロナ禍で困窮度が増したところも多いようです。（1面参照）

「食品パック」プロジェクト

ひとり親はじめ子育て世帯がコロナ禍で困窮することが増えています。子どもたちに少しでも笑顔になってほしいと、夏休みと年末に希望世帯を公募して、食品を届けるプロジェクトを実施しました。（1面参照）

支援実績 のべ**1246**世帯 **3815**人
（夏休み、年末合わせて）



返信のはがき



食品パックの一例

2022年度目標と今後に向けて

困窮者支援に必要な食品の確保

生活困窮世帯への支援が拡大する中、常温で日持ちがし、調理せずに食べられる食品の確保が課題となります。また、量だけでなく、特に子どもたちの成長に必要な栄養にも配慮した内容にすることが望まれます。そのため、主食のお米やたんぱく源、野菜、果物などの提供を各方面にお願いしていききたいと思います。

食品管理のさらなる適正化

2021年度に導入した入在庫システムにより在庫管理やトレーサビリティが向上しました。これをさらに進めていき、適正な食品管理と受益者にとって最適な食品の提供、ボランティア作業の効率化を目指していきます。

食べ物を介した市民の助け合いのしくみが社会に定着するように

命を繋ぐ食べ物を預かって、困窮している人たちにつなぐフードバンク活動が、地域社会に根付いていくよう、この活動に賛同してくださる方をさらに増やしていきたいと思います。

フードバンクからの食支援だけでは、個人や世帯の抱える問題の根本的な解決にはならないことも多いですが、行政機関や民間の支援団体との連携を図り、地域でのセーフティネットづくりの一助を担っていけるよう、活動を継続させていきます。今後も皆さま方からのご理解とご支援を賜りますようお願いいたします。

運営費について

フードバンク事業からは収益は得られなく、当法人の活動運営費は、活動趣旨に賛同して下さる皆様からのご寄付や会費、助成金でまかなっております。

2021年度もたくさんの方々からご支援いただくことができました。皆様からの当法人の活動への期待を真摯に受け止めてまいります。

■賛助会員、個人・企業からの支援

本年度は、賛助会員からの年会費および一般の寄付が、個人、法人を合わせてのべ914件でした。クレジットカードでの継続寄付が増加しており、企業や個人の方から高額寄付もいただくことができました。

■助成金

神戸市環境局フードバンク活動支援助成金、「BEKOBEミライPROJECT感謝賞」を受け取ることができました。

支援金の種類	合計	個人		法人・団体	
正会員会費	290,000	29件	290,000	0	0
賛助会員会費	5,920,000	242人	2,924,000	167件	2,996,000
一般寄付	19,203,302	472人	12,750,952	33件	6,452,350
助成金	2,333,887	0	0	3件	2,333,887
補助金	2,627,100	0	0	1件	2,627,100
合計	30,374,289	743件	15,964,952		14,409,337

2021年度収入		2021年度支出		
会費（正会員）	290,000	事業費	人件費	1,850,000
会費（賛助会員）	5,920,000		食品配送経費	4,802,156
一般寄付	19,203,302		交通費	1,483,714
助成金	2,333,887		賃借料	3,295,155
補助金	2,627,100		その他の経費	5,847,126
その他の収益	1,105,313	管理費		1,232,430
経常収入合計	31,479,602	経常支出合計		18,510,581

運営体制について

フードバンク関西は常勤職員をおかず、ボランティア（一部有償）で運営しています。

第19期定期総会にて、新任2名を含む8名の理事と1名の監事の役員体制が承認されました。

予告

夏休み子育て世帯応援食品パック

今年も実施します！

募集時期：2022年6月中旬 食品お届け時期：2022年7月中旬～下旬

対象：児童扶養手当満額受給または住民税非課税世帯（2人親世帯）、それらと同等の経済状態世帯
兵庫県内在住で、3歳以上高校生以下のお子さんのいる世帯

この事業に賛同して下さる皆さまからの食品のご寄贈をお願いいたします

詳しくは、フードバンク関西事務所にお問い合わせください。

誰もが食べ物を得られる社会のために、みなさまのご支援をお願いします。

クレジットカードから手軽に寄付ができます！

●公式ホームページから <https://foodbankkansai.org/donate-money/>

●郵便振替は窓口にて 口座番号00990-7-333141

※振込手数料について 赤い郵便振替取扱票（当法人送金手数料負担）でのご寄付でも現金での送金にご寄付者に加算料金110円をご負担いただくこととなりますのでご注意ください。ゆうちょ通帳・カードからの送金は手数料なしです。

●銀行振込 三井住友銀行芦屋駅前支店 口座番号4032415

※いずれも口座名義は「特定非営利活動法人フードバンク関西」

※お振込みの際にはメールにて寄付者の住所、氏名、寄付日時を

必ずお知らせください (info@foodbankkansai.org)

 毎月3,000円のご寄付で！

一時的に困窮する世帯1世帯1週間分の緊急食糧または、支援を必要とするひとり親世帯1世帯（複数人世帯）に食品パックを宅配便で直接届けることができます。



↑↑こちらからもお申込みできます。